

## 平成30年度入学者選抜における実技試験評価のポイント

平成29年度に実施した平成30年度入学者選抜における実技試験の評価のポイントは、以下のとおりです。

- 鉛筆デッサン 推薦選抜、社会人特別選抜（240分）  
一般選抜前期日程（240分）  
一般選抜中期日程（300分）

- ・出題の意図を理解し、異質なモチーフの組み合わせや配置による構図など、画面全体の構成力を評価した。
- ・モチーフの形態や質感、立体感や空間の表現など、基本的な観察とその描写力を評価した。
- ・画面全体に配慮したバランス感覚や、質的密度を高める集中力を評価した。

- 着彩表現 一般選抜前期日程（240分）

- ・モチーフの特徴を踏まえ、背景との関係を考え、画面全体を空間として捉える構成力を評価した。
- ・モチーフの細部と全体の関係を描き分ける観察力を評価した。
- ・水彩絵の具の扱いも含めた、総合的な着彩の描画力を評価した。

- 色彩表現 一般選抜前期日程（240分）

- ・出題内容を理解し、与えられたモチーフがどのように表現されているかを評価した。
- ・色彩の対比や調和など、基本的な色彩構成力を評価した。
- ・自身のアイデアや制作意図が、効果的に表現されているかを評価した。

- 立体表現 一般選抜前期日程（240分）

- ・モチーフの特徴を踏まえ、空間や形態をどのような視点で再構成しているかを評価した。
- ・モチーフの扱いや加工などの造形力を評価した。
- ・制作意図と解答との整合性を評価した。